誰もがクリエイターになれる。
Web3の音楽・エンターテインメントアプリ「MMMM」の
日本アンバサダーに小室哲哉氏を迎える。

2022年12月07日（水）

Web3音楽・エンターテインメントアプリ「MMMM」(Make Music Make Mess)は、これまで生み出した楽曲は1,600曲を超える日本音楽界のレジェンド、音楽プロデューサー小室哲哉氏を日本アンバサダーに迎えることが決定しました。

小室哲哉氏を迎えることにより、MMMMの音楽クオリティやシステムの向上などにもアドバイスをいただきながら、グローバルなユーザーが楽しめるエンタメアプリを目指します。

■小室哲哉氏について

小室哲哉氏は、日本の音楽史上最も成功したプロデューサーとして知られ、エレクトロニックダンスミュージックを日本のメインストリームに押し上げ、レコードプロデューサーとしての最盛期、彼が主にプロデュースを担当したアーティストは「小室ファミリー」と総称され、1990年代のJ-POPに最も影響を与えた人物の一人として広く知られています。日本で制作したレコードの総売上枚数は1億7,000万枚を超え、日本史上最も売れた音楽プロデューサーとなりました。

小室哲哉氏の登場以降、日本における「音楽プロデューサー」という言葉の認知度は大きく向上しました。かつては、作詞・作曲・編曲や資本的なロジスティックの整理を複数の人間が担当するのが普通で、音楽プロデューサーは主に後者を担当し、作詞・作曲・編曲には関わらないことも少なくありませんでした。しかし、小室哲哉氏はそのほとんどを自分で行うことを心がけ、その結果、個性的で強いスタイルのアーティスト達が誕生しました。そして、このたびのMMMMとのコラボレーションは、「音楽プロデューサー」のあり方を改めて問い直すものとなりそうです。

■Web3音楽・エンターテインメントアプリ「MMMM」とは

MMMMは、歌が好きな人のため、そしてクリエイターに忠実な音楽・エンターテインメントアプリ

として、音楽をコンテンツの入口とし、ユーザーにコンテンツクリエイター、ファン、投資家という複数のアイデンティティを与えることで、ソーシャルミュージック領域における新しい需要と供給のエコシステムを構築することと同時に、膨大な音楽ライブラリー、複数地域での著作権許諾、高品質なチューニング機能や他のリソースなどの強みを活かし、音楽業界の上流と下流のコミュニケーションチャネルを開放し、より多くのクリエイターがMMMMのプラットフォーム上で音楽の才能を公開し、注目と収益を集め、ユーザーが音楽制作、ファンとの交流、収益獲得に参加する産業チェーン全体のハードルを下げることを目指しています。これにより、誰もが音楽クリエイターになれるだけでなく、より多くの音楽愛好家がより自由に好きな音楽にアクセスできるようになります。

統計によると、世界中で何百万人もの人々が、日々のエンターテインメントの一部としてカラオケアプリを利用していることが分かっています。MMMMは、このカラオケモデルを第一弾として、膨大な数のWeb2ユーザーにWeb3の世界を紹介し、Web3への参入の敷居を下げ、オーディオエンターテインメント業界のチェーンが生み出すボトルネックを打破し、すべての音楽クリエイターが自分の作った音楽の権利を完全に持つようにしたいと考えます。これは、他の類似アプリとは明らかに異なるアプローチであり、MMMMが他の音楽アプリと明確に一線を画し、Web3をコンセプトとした製品技術という形で、音楽エンターテインメントの新しい社会的探求に乗り出す一端を担っていることを表しています。

また、MMMMのファンは、自分の楽曲をNFTとしてキャスティングし、コレクション、譲渡、トレードすることができます。

MMMMでは、今後、音楽コンテストなどの活動も予定しており、小室哲哉氏など有名ミュージシャンの参加により、音楽制作の分野でもよりプロフェッショナルになることは間違いありません。これにより、より多くの音楽的才能を持つユーザーがMMMMを通じて才能を発揮し、プロのプロデューサーと出会い、つながることで、より大きな注目を集め、より高い評価を受けることができるようになります。MMMMは今後、さらに専門的なリソースを投入し、技術革新と洗練のレベルを高め続けることで、Web3における音楽コンテンツ制作とソーシャルエンターテインメントモデルのさらなる可能性を追求していきます。

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com